

「在宅看取り語りの場」 ご協力をお願い

〇〇 各位

訪問看護ステーション
管理者 ○ ○

平素より大変お世話になっております。

当ステーションでは「最期までそのひとらしく」を支えたいという思いから、在宅での看取りを選択されるご家族や利用者の意向に寄り添っています。

訪問看護師として在宅での看取りをご希望された利用者の中では、体調が悪くなる、病気を抱える、治療に行き詰まるなど、その状況となって初めて「どう過ごしたいのか」選択を迫られますが、実際選択を迫られてもイメージがつかないことから、迷いが生じてそのままバタバタと状態が悪化してしまう・・・といった状況の方も目にしてきました。

訪問看護師として、「もう少し早く関わり、治療や療養の支え、その後の選択の助けになりたかった」といった想いが残ったこともありました。

また、選択には迷いや絶望を感じた過程があっても、ご自宅でご家族や多職種に支えられながら、穏やかに最期を迎えられた方もおり、看護師としても「良かった」と感じる事例もありました。

もちろん、ご自宅で最期を迎えることだけが最善の選択ではない場合もあります。

日ごろから死についてタブー視せずに語り合うことが大切と感じています。

在宅で最期を迎えることについて地域の方に知っていただき、イメージでき、いざというときの選択肢を増やす一助になれば良いと思います。そこで、地域の皆さまと関係の深い包括支援センターの方々にご協力いただき、地域住民の方々を対象に訪問看護師が在宅看取りについて語る「在宅看取り語りの場」を行いたいと思います。

ご協力いただけましたら幸いです。